

## 内閣府 男女共同参画推進連携会議とは

男女共同参画社会づくりに関し広く各界各層との情報及び意見の交換その他の必要な連携を図り、国民的な取組を推進するため、平成8年9月3日「男女共同参画推進連携会議」が発足しました。現在18名の有識者と97の団体から推薦された方々で構成されています。男女共同参画推進連携会議では、政府の政策や国際的な動きについての情報提供を行うなど、男女共同参画社会の実現に向けた取組を積極的に推進しています。詳しくはWebをご覧ください。 <http://www.gender.go.jp/kaigi/renkei/>

## BPWとは

Business and Professional Women の略で、働く女性の利益を促進し、女性の社会的地位と職業水準の向上をはかるとともに、国内外の働く女性の親交と理解を深め、世界平和に寄与することを目的とした団体です。日本BPW連合会は、1951年より活動を始め、国連の経済社会理事会の諮問機関として総合協議資格をもつNGO団体BPW Internationalに1959年に加盟し、2009年NPO法人化しました。全国に17のクラブとアソシエーツがあります。2017年に認定NPO法人になりました。

活動の詳細はWebをご覧ください。 <http://www.bpw-japan.jp/>

## 女性の能力向上のために

### 国連CSWインター派遣



毎年NYの国連本部で開催される女性の地位委員会(CSW)に20代の女性を派遣、国際的な感覚・知識の習得機会を提供。

### ヤング・スピーチコンテスト



女性が社会低地位を獲得していくために必要なスキルを磨く、5分間スピーチコンテスト実施。テーマ「私と仕事・職業」地区予選後全国大会。

### 講演・ワークショップ・公開講座等開催



毎年、全国5ブロックでの研究会及び全国大会開催。また各地のBPWが、講演会・ワークショップ・公開講座等を実施。

## 男女平等の実現のために

### イコール・ペイ・デイ活動



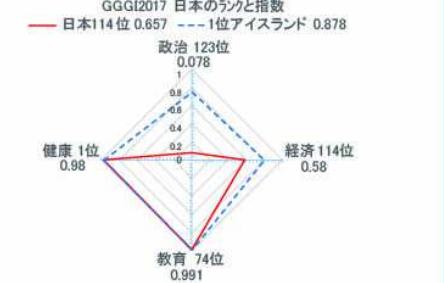
男女の賃金格差を「見える化」する活動。2017年は4月7日。女性が男性の年収と同額を得るには、3か月7日余計に働くなければならない。

### WEPsの普及・広報活動



WEPs=女性が、可能性を十分に発揮し、能力を高め、それを評価されて、活躍できるための原則。署名企業の拡大を目指し活動。

### GGGI（男女格差指数）の周知活動



世界経済フォーラム集計の2017年日本の男女格差(The Global Gender Gap Index = GGGI)は過去最低の114位(144か国中)

## 国際活動・他団体との協働

### BPW International 他 国際交流



コンgres、リージョナル会議等への参加し、日本についての報告や情報交換等。国内外の課題について国際活動への協力など。

### 女性議員を増やすために協働



クオータ制を推進する会の役員団体として、「政治分野における男女共同参画推進法案」の成立を求めて活動。

### 2030年の50-50(フィフティフィフティ) 目指して



国連 SDGs(Sustainable Development Goals)「5項: ジェンダー平等を達成しすべての女性及び児の能力強化を行う」の実現にむけ活動。

## 国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業



WAW!2017シャイン・ウィークス  
公式サイドイベント

## シンポジウム

# 『女性の活躍で和歌山が輝く!』

## ～みんなで作る50/50(フィフティ・フィフティ)～

### 日 時

平成29年11月18日土 13:00～

### 会 場

和歌山商工会議所 4Fホール(和歌山市西汀丁36)

主催：内閣府、男女共同参画推進連携会議、特定非営利活動法人日本BPW連合会、BPW和歌山クラブ

共催：和歌山県中小企業団体中央会、和歌山県商工会連合会、

一般社団法人和歌山経済同友会、学校法人近畿大学生物理工学部、JAわかやま

後援：和歌山労働局、和歌山県、和歌山市、和歌山商工会議所、和歌山県経営者協会、

一般社団法人和歌山青年会議所、国立大学法人和歌山大学、

日本労働組合総連合会・和歌山県連合会(連合和歌山)

男性も女性もそれぞれの能力と個性を活かせる社会はみんなが輝ける社会です。男女が互いに尊重しながら50/50の関係で対等な社会を作ることは“和歌山が輝く”ことにつながります。このシンポジウムでは《経済（商・農・工）》《政治》《地域・家庭》《教育》《子育て・介護》の5つのテーマごとに私たちのまち、和歌山が輝く方法をご一緒に考えていきます。

## プログラム

総合司会 小原 智津 BPW和歌山クラブ会長

13:00 開会あいさつ

特定非営利活動法人日本BPW連合会 理事長 平松 昌子

13:05 BPWヤング・スピーチコンテスト

13:30 トーク＆トーク

<スピーカー>

内閣府男女共同参画局長  
太洋工業株式会社 代表取締役社長  
有限会社 ViVifala 島ゆかこ 代表取締役

<コーディネーター> 日本BPW連合会 理事長

武川 恵子  
細江 美則氏  
島 由佳子氏  
平松 昌子

14:40 グループディスカッション

<問題提起者>

株式会社松源 西庄店店長  
「国連女性の地位委員会」インターン参加者  
紀の川市食育推進会議 会長

堀口 由記江氏

<コーディネーター> 和歌山大学 准教授

川合 里沙氏  
三國 和美氏  
金川 めぐみ

<アドバイザー> 内閣府男女共同参画局長  
日本BPW連合会 理事長  
日本BPW連合会 副理事長

武川 恵子  
平松 昌子  
名取 はにわ

<グループテーマ> 『経済(商・農・工)』『政治』『地域・家庭』  
『教育』『子育て・介護』

15:40 発表と和歌山アピール採択

16:15 交流会 情報交換とネットワーキング（ヤング・スピーチコンテスト表彰式）

16:45 閉会あいさつ

ヤング・スピーチコンテスト及び交流会は、日本BPW連合会・近畿ブロックが主催

### ヤング・スピーチコンテストとは

2002年のBPWIメルボルンコングレスで開催されたヤングメンバーのスピーチコンテストに感動したBPW役員の発案で、日本の若い女性たちも人前で堂々とプレゼンができるようになってほしいと、2003年度から実施しています。様々な分野で活躍する若い女性たちが「私と仕事」を keyword に、それぞれの想いや夢を5分間でプレゼンします。スピーチ内容だけでなく、その表現力も審査対象となり、全国5ブロックでの選考会で最優秀に選ばれた方が全国大会に出場します。

### 登壇者プロフィール



**細江 美則氏 太洋工業株式会社 代表取締役社長**

1948年和歌山市生まれ。1972年早稲田大学理工学部電気工学科卒業し、1974年早稲田大学大学院理工学研究科（電気工学専攻）修了後、沖電気、オリエンタース（現オリックス）株式会社をへて、1980年太洋工業株式会社取締役に就任、2001年より現職。フレキシブルプリント基板など精密機器の製造販売を手がける。「いつの時代も考え方、そして実行する」ことをモットーに、エレクトロニクス分野の理想を追求する情熱とそれを実現する技術力で切り開くことに注力する。プライベートでは、地元のラジオ、和歌山放送で音楽を紹介するレギュラー番組をもち、豊富な知識とコメント力に定評がある。



**島 由佳子氏 有限会社 ViVifala 島ゆかこ 代表取締役**

大学卒業後、和歌山県立医科大学第二内科学教室秘書となる。その後、移動カレー販売を計画するもカレー事件がおき断念する。それを機に介護の道に進み、施設などで様々な経験を積むなかで、自分の想う介護の形を創ろうと2005年に独立し、介護事業所「(有)ViVifala 島ゆかこ」を設立。有料老人ホーム、ヘルパーステーション、訪問介護、居宅介護、デイサービス等の事業を展開している。現在、和歌山県訪問介護事業所協議会会長、和歌山県国体馬術競技監督、わかやま城下町パル実行委員長、商工会議所活動や保護司等の活動もしている。



**堀口 由記江氏 株式会社松源 西庄店 店長**

平成18年2月、吉祥駅前店レジ部門ヘパートナー社員（パート）として入社する。レジ係からスタートし、その後店舗レジ主任や本社の教育課での教育担当を経て、各店舗にて主任として経験を積む。そして、平成27年8月に、内原店店長に昇格。現在は西庄店店長として大きな店舗をマネジメントしている。日々、主婦としての消費者の目線と店舗を運営する管理者の目線の両方を大切にし、お客様に喜んでもらえるよう、より良い店舗運営に励んでいる。家族は、夫と子ども2人。



**川合 里沙氏 「国連女性の地位委員会」インターン参加者**

埼玉県出身。埼玉県立熊谷女子高校卒業後、筑波大学 社会・国際学群国際総合学類に進学し、2015年に卒業。さらに、横浜国立大学都市イノベーション学府を2017年春に修了。現在 富士通株式会社勤務。

2017年3月、日本BPW連合会が実施している国連女性の地位委員会（CSW）への女性インターン派遣事業に応募し選ばれ、ニューヨークの国連本部内等での委員会や様々な行事に参加し研鑽を積む。帰国後もBPWの活動に積極的に参加。趣味は、街歩き、スポーツ観戦。「継続は力なり」をモットーとしている。



**三國 和美氏 紀の川市食育推進会議 会長**

和歌山市生まれ、現在は紀の川市在住。紀の川市食育推進会議会長、栄養士グループ NAGA 会長、和歌山県立農林大学非常勤講師。子どもの料理教室や親子クッキング、高齢者の配食サービス、男性料理教室など、多くの人と関わることが趣味を兼ねた仕事となっている。特定非営利活動法人和歌山eかんぱにい、和歌山イコール会議に所属、また、趣味で着付け教室も始め、たくさんの出会いと学習の機会を得ている。家族は夫と息子2人。息子たちは、それぞれパートナーにもめぐまれ孫が4人。自分がやりたいこと、自分にできることって何だろうと思いつながら日々過ごしている。



**武川 恵子 内閣府男女共同参画局長**

香川県高松市出身。1981年東京大学卒業、総理府（現内閣府）入府。1989年米国デューク大経営大学院修了。内閣府賞勲局審査官、内閣府大臣官房政策評価官、内閣府日本学術会議事務局学術部長、国土交通省総合政策局安心生活政策課長、内閣府大臣官房審議官、内閣府大臣官房政府広報室長を経て、2014年より現職。男女共同参画の部局で働くのは4度目。家族は実母、夫、娘、息子。趣味は園芸とピアノを少々。



**平松 昌子 特定非営利活動法人 日本BPW連合会 理事長**

放送業界で30年、情報誌の業界で約5年、働き続けた。この間常に向き合ったことは「女性は、女であるということだけでいつも損をしているのではないか」という疑問。今もそれが解決しないままNGO活動として「女性が人間として生きるために」というテーマを抱えて走っている。現職の他、クオータ制を推進する会員として、政治分野における男女共同参画に取り組む。第59回CSW 日本政府代表団顧問『女ひとりベトナムに行く』（講談社、1965）『女がメディアで生きる』（ドメス出版、2013）他



**金川 めぐみ 和歌山大学 准教授 BPW 和歌山クラブ**

兵庫県生まれ。早稲田大学大学院を修了。社会的援助を必要とする人々に対する社会的保障・福祉法政策を研究。元和歌山県男女共同参画審議会会長、海南省男女共同参画懇話会会長、和歌山県介護保険審査会公益委員、和歌山市地域福祉計画推進協議会委員長など多数の公職を務める。厳しい指導と温かなまなざしに、学生から絶大な信頼を得ている。『チャレンジ現代社会と福祉』（共著、法律文化社）、『福祉政策の課題 - 人権保障への途』（共著、放送大学教育振興会）など、著書多数。